福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防施設管理事業					事業コード	090101550203				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化					
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実				施策コード	212				
事業担当	所属	550100 消防本部総務課			所属長	山下 明子					
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	181・182	頁
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	消防組織法、消防法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	消防庁舎改修事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 消防庁舎として、昭和56年度から旧三町の事務委託として、福知山消防署東分署（長田野町）及び福知山消防署北分署（牧）の運用を開始し、適切な維持管理に努めているが老朽化による修繕箇所は増えている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 消防庁舎・防災拠点として常に迅速な対応が必要な施設であるため、職員による日々の庁舎・設備の維持管理、専門業者による保守管理を適切に行い、長寿命化を図る必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 老朽化の進む庁舎の維持管理と共に保守管理を適切に行う。 長期的な維持管理計画によって、修繕や改修箇所の優先順位を確認しながら庁舎の長寿命化を図る。

対象者	—	対象者数	—	単位あたりコスト	#VALUE!
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	4,395	消耗品費、燃料費、電気料、上下水道料、施設修繕料			
役務費	585	損害保険料、ごみ廃棄手数料、電信・電話料			
使用料及び賃借料	367	NHK受信料、複写機等使用料			
備品購入費	98	庁舎用備品（事務椅子、食器乾燥機、署旗）			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	6,472	5,514	5,093	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		6,472	5,514	5,093	
予算財源内訳	① 一般財源	5,599	4,843	4,424	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	873	671	669	
決算情報	① 流充用額	△ 509	△ 70		
	② 配当予算	5,963	5,444		
	③ 執行額	5,770	5,444		
	④ 執行率	96.8%	100.0%		
人件概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.95 / 0.00	3.25 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	23,600	26,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		29,370	31,444		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		電柱占用料		消防使用料		52		9	
		自動販売機設置貸付収入（消防本部）		財産貸付収入		544		31	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	施設等に起因する活動支障発生回避率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2,064	2,160	2,177	2,125		
	東分署及び北分署の出動件数（火災・救急）	当初見込		1,830	2,064	2,160	2,177	－	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	東分署及び北分署の適切な維持管理								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	消防庁舎改修事業により、機能維持、改善を計画的に実施することで、常に迅速な災害対応を実施する防災拠点としての機能を維持しているが、庁舎の老朽化に対する修繕や改修等が必要な箇所も多く、職員による日々の庁舎・施設・設備の維持管理、専門業者による保守管理を適切に行うことで、長寿命化が図れている。 社会情勢や自然環境の変化に伴い、求められる消防活動も常に変化し高度化している。庁舎の不具合によって出動体制に支障が出ないよう、更なる長寿命化に向けた対策を講じていくと共に、変化する消防活動に対応すべく限りある予算を有効に活用し、長期的な維持管理計画を立てて防災拠点としての施設環境の整備を図っていく。
現状の課題に対する改善策	今後も老朽化による修繕やメンテナンスの増加が見込まれる。複雑化、多様化、大規模化する災害に対応する防災拠点として、消防庁舎改修事業において、ハード面の計画的な施設の補修、改修を行うとともに、当該事業において、常日頃の点検、維持管理をしっかりと行うことで、限りある予算を有効に活用し長寿命化を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防職員教育訓練事業							事業コード	090101550209		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212		
事業担当	所属	550100 消防本部総務課				所属長	山下 明子				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	182	頁
計画期間	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	消防組織法、消防法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	新採職員教育事業、消防職員高度教育訓練事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 消防学校や研修機関による教育の実施、資格取得により、消防活動の実施に必要な資格、最新の知識や技術を習得している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 最新の消防活動の実施に必要な資格、最新の知識や技術を習得し、全職員に対して十分に波及させ、消防本部全体の能力向上、業務の推進を図る。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の強化
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 京都府立消防学校各専科教育課程への入校（警防科/予防査察科/危険物科/幹部科/救助科/特殊災害科/火災調査科） 兵庫県消防学校への入校（初級幹部科、災害現場指揮科） 各種資格の取得（玉掛け/小型移動式クレーン/潜水士/小型船舶/予防技術） その他各種研修・講習会等の実施及び受講

対象者	消防吏員	対象者数	139	単位あたりコスト	371.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 京都府立消防学校等への入校 ）					
委託先・実施主体等	京都府立消防学校、兵庫県消防学校等					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	336	受験、受講にかかる旅費			
需用費	132	受験、受講にかかる教材費、食糧費			
役務費	56	受験手数料、免許申請手数料			
使用料及び賃借料	154	高速道路使用料、駐車料金			
負担金補助及び交付金	194	受講負担金、寮使用負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,665	1,026	1,053	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,665	1,026	1,053	
予算財源内訳	① 一般財源	1,665	1,026	1,053	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 560	△ 16		
	② 配当予算	1,105	1,010		
	③ 執行額	926	871		
	④ 執行率	83.8%	86.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	5.27 / 0.00	6.34 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	42,160	50,720		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		43,086	51,591		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	各業務への修了者配置数	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	課程数	8	8	9	9		
	消防学校入校課程数	当初見込		8	9	9	10	9	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	教育訓練における長期的な入校計画に基づく適切な職員配置								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	府立消防学校での教育課程に加え、兵庫県の消防学校で実施する課程の受講環境を整え、全課程を修了することができた。また、これまでの長期的な教育計画のとおり修了者を適切に配置しており、全職員の能力向上が図れた。今後も計画的な課程への入校及び適切な人員配置により消防力を強化する。
現状の課題に対する改善策	年々変化する災害に的確に対応するために全ての職員が身につけるべき実践的な教育と位置付けているため、今後もより多くの職員が受講できるよう教育機会を整えるとともに、課程を受講した職員を中心とした指導やOJT、業務の推進体制を整え、当該事業における教育効果を全職員に対して十分に波及させ、消防本部全体の能力向上、業務の推進を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	新採職員教育事業							事業コード	090101550211		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212		
事業担当	所属	550100 消防本部総務課				所属長	山下 明子				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	182	頁
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	消防組織法、消防法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	消防職員教育訓練事業、消防職員高度教育訓練事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 専門性の高い消防業務に従事するために、国の定めた教育課程を修了する必要があり、そのために設置された京都府立消防学校での初任教育及び救急科の受講が必須である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 入校予定者全員が無事課程を修了するため、事前準備から受講体制を計画的にしっかり整える必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 新規採用職員に対し、消防吏員として必要な基礎的な知識・技能を修得させる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 京都府立消防学校の初任教育・救急科への入校

対象者	新規採用職員	対象者数	6	単位あたりコスト	8,905.7
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 京都府立消防学校への入校 ）				
委託先・実施主体等	京都府立消防学校				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	218	入校にかかる旅費			
需用費	1,397	入校にかかる教材費、食糧費			
負担金補助及び交付金	538	受講負担金、寮使用負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,225	2,439	2,873	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		3,225	2,439	2,873	
予算財源内訳	① 一般財源	3,225	2,439	2,873	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	25	△ 211		
	② 配当予算	3,250	2,228		
	③ 執行額	3,129	2,154		
	④ 執行率	96.3%	96.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	5.41 / 0.00	6.41 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	43,280	51,280		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		46,409	53,434		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	教育課程修了者率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	4	7	9	6		
	必要教育課程修了者数	当初見込		4	7	9	6	－	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	入校予定者に対して、採用前から入校に必要な提出書類や必要物品準備のために、事前説明会を実施、入校後についても、学校関係者と連携しながら課程修了までサポートを行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	消防吏員として業務を行うための、基礎的な技術・知識を習得するための教育であり、入校予定者全員が無事課程を修了した。引き続き、事前準備から受講体制を計画的にしっかり整え、予定者全員が課程を修了できるよう業務を推進する。
現状の課題に対する改善策	基礎的な技術や知識を身に付けさせるため、引き続き消防学校での教育訓練の受講体制をしっかりと維持する。また、課程修了後の各種訓練や指導体制について、消防職員教育訓練事業等と連携しながら充実を図り、より実践力の高い職員の育成を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防通信指令システム管理事業							事業コード	090101550228	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化			
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212	
事業担当	所属	550100 消防本部総務課				所属長	山下 明子			
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	182・183 頁
計画期間	開始年度	平成10年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防組織法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	京都府中・北部地域消防指令センター管理事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 119番通報受信から出動、災害情報の伝達等を24時間365日、正常に稼働させ運用するために消防指令システム、消防救急デジタル無線及び消防団簡易デジタル無線の点検を実施し、機能維持を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 京都府中・北部地域消防指令センター管理事業と連携を図りながら、本市分の個別システムについて適切な維持管理を行い、活動に支障が出ないよう初動体制の維持を図る。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 119番通報の内容から、災害発生場所及び災害状況を迅速・的確に把握し、被害を最小限度にとどめるために必要となる消防通信指令システム（消防指令システム、消防救急デジタル無線等）の機能維持を図り、災害への初動体制に万全を期すことにより、市民の安心・安全に貢献することを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 消防通信指令システムの維持管理 ・消防指令システムの機能維持、点検及び修繕 ・災害受信システムの機能維持 ・消防救急デジタル無線及び消防団簡易デジタル無線の機能維持、点検及び修繕

対象者	市民	対象者数	77,306	単位あたりコスト	0.8
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社富士通ゼネラル近畿情報通信ネットワーク営業部、大槻ポンプ工業株式会社 福知山営業所				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	584	消耗品費、電気料			
役務費	4,379	損害保険料、電信・電話料、陸上特殊無線技士受験手数料ほか			
委託料	1,823	消防救急デジタル無線/消防団無線システム点検業務委託			
負担金補助及び交付金	108	消防団簡易デジタル無線電波利用料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	8,783	7,700	8,367	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		8,783	7,700	8,367	
予算財源内訳	① 一般財源	8,783	7,700	8,367	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 3,178	△ 760		
	② 配当予算	5,605	6,940		
	③ 執行額	5,272	6,895		
	④ 執行率	94.1%	99.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	7.08 / 0.00	6.92 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	56,640	55,360		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		61,912	62,255		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	本事業に起因する活動支障発生回避率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	4,020	4,132	4,154	4,009		
	全出動件数（火災・救急・救助）	当初見込		3,548	4,020	4,132	4,154	－	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防通信指令システム（消防指令システム、消防救急デジタル無線等）の適切な維持管理								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	通信指令管制業務は、119番通報受信から出動、災害情報の伝達等を24時間365日、正常に稼働させ運用するために消防指令システム、消防救急デジタル無線及び消防団簡易デジタル無線の点検を実施し、機能維持を行っている。また、システム障害や経年劣化による機器の不具合によって、通信指令管制業務が停止し活動に支障が出ないようにシステムの維持管理を適切に行い、市民の安心、安全に貢献している。
現状の課題に対する改善策	消防指令センターの共同運用を令和6年4月から開始しており、京都府中・北部地域消防指令センター管理事業と連携を図りながら、本市分の個別システムについて適切な維持管理を行い、活動に支障が出ないよう初動体制の維持を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防職員高度教育訓練事業						事業コード	090101550247		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実					施策コード	212		
事業担当	所属	550100 消防本部総務課			所属長	山下 明子				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	183 頁
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防組織法、消防法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	消防職員教育訓練事業、新採職員教育事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 指導救命士や救命士養成課程、消防大学校での教育課程を受講させることで、常に高度で最新の消防技術や知識を指導者に取得させ、消防力の強化を図り、刻々と変化する災害態様や住民のニーズに適切に対応している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 最新の高度な消防知識と技術を職員に習得させるための教育受講体制を維持し、指導者の適切な配置を行う。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の強化
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 消防力の強化を図るため、消防職員の高度教育の実施 ・指導救命士養成課程への入校（1名） ・救急救命士養成課程への入校（1名） ・消防大学校各課程への入校（幹部科1名、自主防災組織育成短期コース1名） ・各種災害対応技術向上のための各種講習会の受講（大型免許4名・FTC1名・重機1名）

対象者	消防吏員（高度教育実施者）	対象者数	10	単位あたりコスト	716.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 消防大学校,京都市立消防学校等への入校 ）					
委託先・実施主体等	消防大学校、京都市立消防学校					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	324	受験、受講にかかる旅費			
需用費	445	受験、受講にかかる教材費、食糧費、貸与被服			
役務費	58	受験手数料、免許申請手数料			
使用料及び賃借料	13	高速道路使用料			
負担金補助及び交付金	2,711	受講負担金、寮使用負担金			
公課費	9	救急救命士免許申請にかかる登録免許税			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,497	3,973	4,189	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,497	3,973	4,189	
予算財源内訳	① 一般財源	4,497	3,973	4,189	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 400	△ 213		
	② 配当予算	4,097	3,760		
	③ 執行額	3,942	3,560		
	④ 執行率	96.2%	94.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.58 / 0.00	0.45 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	12,640	3,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		16,582	7,160		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	救急救命士最低配置人員確保	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	1	1	1	1		
	救急救命士養成課程への入校	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	救急救命士の資格取得者の採用や職員の養成課程への入校者を含めた適切な人員配置								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	高度教育修了者業務配置率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	9	8	15	10		
	高度教育実施者数（救急救命士含む）	当初見込		8	8	11	10	12	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	高度教育訓練における長期的な入校計画に基づく適切な職員配置								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	長期的な受講計画を立て、高度で最新の知識及び技術の習得を行うことと、修了者を適切に配置することで指導体制を強化し、若手職員の能力向上などの消防力強化が図れた。 刻々と災害態様が変化する中で、必要とされる知識や技術も変化するため、今後も最新の知識や技術を調査研究し、その指導者を育成、指導体制を整えることで、あらゆる分野の技術向上及び消防体制の強化を図っていく。
現状の課題に対する改善策	新採職員教育事業や消防職員教育訓練事業において実施してきた基礎、実践的な教育の上に、更に職員の能力や業務経験を見極め、将来に渡りその分野において、推進的かつ指導的な役割を担う高度な知識・技術を習得した指導者を育成する事業であり、必要な教育内容をしっかりと精査しながら、今後も計画的に受講体制を確保する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防防災センター管理事業							事業コード	090101550272		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212		
事業担当	所属	550100 消防本部総務課				所属長	山下 明子				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	183	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	消防組織法、消防法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	消防庁舎改修事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 消防救急体制の確保は市町村の義務であり、そのための消防施設の維持管理を適切かつ的確に実施している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 迅速な災害対応を実施する防災拠点として、長寿命化を図り、長期的な維持管理計画を立てて防災拠点としての施設環境の整備を図っていく。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 消防活動の拠点となる福知山市消防防災センター（福知山市消防本部・福知山消防署）の庁舎施設維持管理

対象者	ー	対象者数	ー	単位あたりコスト	#VALUE!
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	都築テクノサービス株式会社福知山オフィス、株式会社スリーエス、株式会社HoriTech				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	16,958	消耗品費、電気料、上下水道料、ガス使用料、施設修繕料、備品等修繕料ほか			
役務費	1,459	損害保険料、電信・電話料、ごみ廃棄手数料、郵送料			
委託料	391	J-ALERT保守業務、特別管理産業廃棄物収集・運搬・処分業務、コンセント回路変更業務			
使用料及び賃借料	618	NHK受信料、複写機等使用料、			
備品購入費	1,116	事務椅子、キャビネット、電気洗濯機、AED、プリンター			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	21,389	20,362	29,118	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		21,389	20,362	29,118	
予算財源内訳	① 一般財源	15,039	12,323	11,282	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	9,600	
	⑤ その他特財	6,350	8,039	8,236	
決算情報	① 流充用額	1,550	180		
	② 配当予算	22,939	20,542		
	③ 執行額	22,939	20,542		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.09 / 0.00	0.97 / 1.30	/	/
	② 概算人件費	8,720	11,400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		31,659	31,942		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	土地貸付収入（消防本部）	財産貸付収入	146	29	
	自動販売機設置貸付収入（消防本部）	財産貸付収入	1,073	31	
	金属くず（消防本部）	物品売払収入	223	32	
	京都府中・北部地域消防指令センター負担金	雑入	6,268	45	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	施設等に起因する活動支障発生回避率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1,956	1,972	1,977	1,884		
	消防署出動件数（火災・救急・救助）	当初見込		1,718	1,956	1,972	1,977	－	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防防災センターの適切な維持管理								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	常に迅速な災害対応を実施する防災拠点として、職員による日々の庁舎・施設・設備の維持管理、専門業者による保守管理を適切に行うことで、長寿命化が図れている。 社会情勢や自然環境の変化に伴い、求められる消防活動も常に変化し高度化している。修繕や改修等の必要箇所も増加してきており、庁舎の不具合によって出動体制に支障が出ないよう、更なる長寿命化に向けた対策を講じていくと共に、変化する消防活動に対応すべく限りある予算を有効に活用し、長期的な維持管理計画を立てて防災拠点としての施設環境の整備を図っていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	今後も老朽化による修繕やメンテナンスの増加が見込まれる。複雑化、多様化、大規模化する災害に対応する防災拠点として、消防庁舎改修事業において、ハード面の計画的な施設の補修、改修を行うとともに、当該事業において、常日頃の点検、維持管理をしっかりと行うことで、限りある予算を有効に活用し長寿命化を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防活動事業							事業コード	090101550285	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち					政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化		
	施策名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212	
事業担当	所属	550100 消防本部総務課					所属長	山下 明子		
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	183・184 頁
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防組織法、消防法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 消防業務の推進は市町村の義務であり、消防活動を円滑に実施するため資機材や車両等の管理や整備を適切かつ的確に実施している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 消防活動を円滑に実施するため資機材や車両等の管理や整備を適切かつ的確に実施し、常に費用対効果と必要性について調査研究、工夫し、無駄なく最小限の費用で有効な消防活動が実施できるよう事業を推進する。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 火災や救助、水難などの災害対応の実施 ・消防業務にかかる各種事務 ・必要な資機材、装備品及び職員の活動環境の整備 ・車両の維持管理 ・消防関係団体との連携、調整

対象者	福知山市民	対象者数	77,306	単位あたりコスト	5.6
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	大槻ポンプ工業株式会社福知山営業所、株式会社モリタテクノス関西営業所				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
旅費	347	関係会議等出席にかかる旅費	負担金補助及び交付金	354	研修、受講負担金、関係団体年会費(全国消防長会、全国消防協会等)
需用費	21,079	消耗品費、燃料費、車両修繕料、備品修繕料、印刷製本費	公課費	549	自動車重量税
役務費	2,884	損害保険料、車検等点検手数料、ボンベ耐圧検査手数料等			
委託料	288	移動式高圧空気製造設備定期検査、梯子車塔体保守点検			
使用料及び賃借料	486	高速道路使用料、駐車料金、派遣職員宿舎賃貸借			
備品購入費	9,281	化学防護服、ウエットスーツ、ドローン、防火衣、消火用ホース等			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	33,756	34,562	39,513	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		33,756	34,562	39,513	
予算財源内訳	① 一般財源	30,756	29,362	26,354	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	2,100	0	
	⑤ その他特財	3,000	3,100	13,159	
決算情報	① 流充用額	3,207	735		
	② 配当予算	36,963	35,297		
	③ 執行額	36,931	35,267		
	④ 執行率	99.9%	99.9%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	39.73 / 1.40	49.29 / 1.18	/	/
	② 概算人件費	321,760	397,624		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		358,691	432,891		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	申請証明手数料	消防手数料	1,960	13	
	消防活動事業(緊急防災・減災)	消防債	1,800	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	本事業に起因する活動支障発生回避率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	4,020	4,132	4,154	4,009		
	全出動件数（火災・救急・救助）	当初見込		3,548	4,020	4,132	4,154	－	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防活動で使用する資機材や車両の適切な維持管理								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	消防活動において、使用頻度や使用年数により、消耗・老朽化していく資機材や車両等の管理及び整備は、必要不可欠である。計画的かつ適切に予算執行するとともに、職員自らの知識や技能を生かすことで、投資効果をより高めるように取り組んでおり、今後も限りある経費の有効な配分をはかりながら、効果的で効率的な消防活動や消防業務を推進していく。
現状の課題に対する改善策	複雑化、多様化、大規模化する災害に対応するため、常に変化する災害態様に合わせ、長期的な計画をもとに必要な資機材の更新、整備、維持管理を行う。 また、保有する設備、資機材等については、職員の知識、能力により、より効果的に活用できるよう、引き続き教育訓練事業等と連携を取りながら消防力の維持、強化を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防出初式開催事業					事業コード	090102550217			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実				施策コード	212			
事業担当	所属	550100 消防本部総務課			所属長	飯田 勝己				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	184 頁
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防組織法、消防法、各種表彰規定									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・消防を代表する年頭行事であり、歴史と伝統がある行事である。 ・消防団員等に対する表彰と、分列行進、一斉放水などにより市民とともに無火災を願い、消防・防災を広くアピールをする場となっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・社会情勢、生活環境の変化など、消防団を取巻く環境が変化していく中、消防団員の確保、負担軽減の観点から、実施方法等について検討が必要となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・消防出初式を開催し、消防活動における功績と永年勤続者への功労をたたえる。 ・消防団員及び消防職員の士気の高揚、市民の防火思想の一層の普及を促し、災害発生の抑制及びその被害の軽減を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 出初式の実施 ・消防団員表彰、無火災自治会表彰、消防活動協力表彰 ・幼年消防クラブの防火防災パレード ・常備、非常備消防による車両行進 ・消防団による分列行進、一斉放水

対象者	消防職員、消防団員	対象者数	1,593	単位あたりコスト	9.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	株式会社アクアテック					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	635	表彰徽章、賞状筒、賞状額			
需用費	516	表彰者名簿印刷、消防出初式開催用消耗品			
役務費	47	白布クリーニング、郵送料、し尿汲み取り手数料			
委託料	54	仮設トイレ設置業務			
使用料及び賃借料	258	厚生会館・御霊公園・グンゼ使用料、看板賃借料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,086	1,241	1,234	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,086	1,241	1,234	
予算財源内訳	① 一般財源	1,086	1,241	1,234	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	69	270		
	② 配当予算	1,155	1,511		
	③ 執行額	1,155	1,511		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.82 / 0.20	1.72 / 0.15	/	/
	② 概算人件費	15,120	14,180		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		16,275	15,691		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	167	260	167	216		
	表彰者数	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防団員（功績、功労）、無火災自治会、消防活動協力（事業所、個人）の表彰 分列行進、一斉放水などの、市民への防火啓発								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	年頭に行う出初式は歴史と伝統のある行事で、広く市民に認識され定着しているものであり、消防団員をはじめとした防火防災活動の功績を称える表彰を漏れることなく確実に行い、出初式を開催することができた。常備消防、消防団の活動や必要性、重要性を広くアピールできる絶好の機会として、市民の方々とも触れ合える各種イベントを同時開催し、防火防災意識の向上と安心安全なまちづくりを目指し出初式を開催する意義は大きく、今後も継続して実施していく。 現状の課題として、消防団員の負担軽減等の観点から、参加人員の精査、開催規模・方法を検討していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	諸課題について検討しながら、時代の変化に合わせた改善も視野に、開催方法等を工夫し継続して実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防団員訓練事業					事業コード	090102550234			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実				施策コード	212			
事業担当	所属	550100 消防本部総務課			所属長	飯田 勝己				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	184 頁
計画期間	開始年度	昭和22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防組織法、消防法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・各種訓練、研修を通じて、消防団活動に必要な専門的知識・技術を習得する必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・消防団員の減少、高齢化が進む中、消防団員の負担軽減を図る必要がある。 ・災害の複雑化、多様化、大規模化に対応する研修の実施。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・消防団員に対し、各種の専門的な教育訓練や研修を行い、安全かつ迅速、的確な災害対応能力の向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・新入団員研修 ・水防訓練 ・操舟訓練 ・消防学校教育の受講

対象者	消防団員	対象者数	1,454	単位あたりコスト	8.5
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 京都府立消防学校への入校 ）				
委託先・実施主体等	京都府立消防学校				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	43	消防学校教材費、訓練用熱中症対策品			
使用料及び賃借料	331	バス借り上げ料、ETC使用料、施設入館料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,818	760	2,760	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		2,818	760	2,760	
予算財源内訳	① 一般財源	2,818	760	2,760	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 317		
	② 配当予算	2,818	443		
	③ 執行額	2,330	374		
	④ 執行率	82.7%	84.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.20 / 0.00	1.49 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	9,600	11,920		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		11,930	12,294		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	消防団員教育訓練費	雑入	8	46	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	各分団の教育修了者の配置率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	16	18	38	57		
	消防学校消防団員教育入校者数	当初見込		87	87	84	84	84	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防団活動に必要な専門的知識・技術の向上を図るため、消防団員に対し各種訓練、研修を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	社会情勢、生活環境の変化を柔軟に捉え、開催方法、実施内容を検討しながら、年間計画に基づき、計画的に訓練を実施している。 災害の複雑化、多様化、大規模化などに対応するため、より高度な教育が必要となっている。 安全に消防団活動を実施するため欠かせない教育訓練であるが、団員数の減少、高齢化に伴い、団員の負担となることや参加団員が見込めないこともある。
現状の課題に対する改善策	団員数の減少や高齢化、就業形態、社会環境の変化、生活スタイルの多様化など、消防団を取り巻く環境が変化する中、安全にかつ的確に消防団活動を行うために必要な専門的知識・技術を身に付けることは重要かつ必要不可欠であるため、必要な訓練、研修が継続して実施できるよう、開催方法を検討し計画的に実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防団員報償事業							事業コード	090102550239		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212		
事業担当	所属	550100 消防本部総務課				所属長	飯田 勝己				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	184･185	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	消防組織法、消防法、福知山市消防団員等公務災害等補償条例、福知山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・消防団員及び消防作業等従事者等に対する公務災害補償を行う。 ・消防団退職者に対する退職報償金の支給を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・確実な支給を行う。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・消防体制の充実強化に資する消防団員及び消防作業等従事者等のために、公務災害補償、退職報償金の確実な支給を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・消防団員及び消防作業等従事者等に対する公務災害補償の実施。 ・退職消防団員に対する退職報償金の支給。

対象者	消防団員、消防作業等従事者等	対象者数	77,306	単位あたりコスト	0.8
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
災害補償費	2,360	消防団員等公務災害補償費、遺族補償年金			
報償費	19,149	消防団員退職報償金			
負担金補助及び交付金	37,829	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	114,807	66,285	106,036	0
	② 補正予算	△ 21,730	△ 4,741	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		93,077	61,544	106,036	
予算財源内訳	① 一般財源	38,200	37,830	38,076	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	54,877	23,714	67,960	
決算情報	① 流充用額	260	0		
	② 配当予算	93,337	61,544		
	③ 執行額	89,964	59,338		
	④ 執行率	96.4%	96.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.33 / 0.25	0.23 / 0.35	/	/
	② 概算人件費	3,340	2,820		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		93,304	62,158		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	消防団員退職報償金	雑入	19,149	41	
	遺族年金	雑入	1,959	44	
	消防団員等公務災害補償事業	雑入	392	44	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	退職報償金の支給	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	165	40	115	51		
	退職報償金の支給者数	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	退職消防団員に対する退職報償金の支給								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	公務災害補償の実施	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2	1	6	3		
	公務災害補償件数	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防団員及び消防作業等従事者等に対する公務災害補償の実施								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	法令に基づく消防団員の退職報償金の支給及び公務災害等補償の実施ができている。 消防団の役員任期が1期2年であることから、改選期には退団者が増える傾向にあり、隔年で予算が増加する。
現状の課題に対する改善策	消防団の活動環境を維持するために、引き続き確実な退職報償金の支給と公務災害等補償を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防団施設管理事業					事業コード	090102550245			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実				施策コード	212			
事業担当	所属	550100 消防本部総務課			所属長	飯田 勝己				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	185 頁
計画期間	開始年度	昭和22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防組織法、消防法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	消防団施設整備事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・消防救急体制確保のため、消防団施設の適切かつ的確な維持管理を行う必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・施設の老朽化に伴う修繕の増加 ・物価高騰に伴う修繕費の増加
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民の生命・財産を守るため、消防団施設の維持管理を適切に行い活動しやすい環境を整えることで災害対応を万全なものとし、各地域の消防力の充実強化を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 消防団車庫・詰所の修繕及び維持管理

対象者	消防団員	対象者数	1,454	単位あたりコスト	4.9
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社かんと一す、株式会社クリア、有限会社大下工務店				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	4,572	水道代、電気代、施設修繕			
役務費	378	共済基金分担金、通信料、浄化槽検査手数料			
委託料	454	し尿浄化槽清掃及び維持管理業務、シロアリ駆除業務			
使用料及び賃借料	581	NHK受信料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	6,415	5,927	5,905	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		6,415	5,927	5,905	
予算財源内訳	① 一般財源	6,415	5,927	5,905	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	59		
	② 配当予算	6,415	5,986		
	③ 執行額	6,131	5,986		
	④ 執行率	95.6%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.11 / 0.00	0.14 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	880	1,120		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		7,011	7,106		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	本事業に起因する活動支障発生回避率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	施設	79	75	72	67		
	管理施設数	当初見込		79	75	72	67	67	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防団車庫・詰所の修繕及び維持管理								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	消防団活動に大きな支障をきたすような消防施設の不具合は発生していないが、消防団員数の減少による再編統合や、消防団員の活動内容の変化といった環境の変化に迅速に対応するべく、消防団施設整備事業と連携をとりながら、安全で活動のしやすい施設環境の整備について取り組んでいく必要がある。
現状の課題に対する改善策	多くの施設を管理していることから、施設の的確な状況把握に努めるとともに、消防団施設整備事業とも連携し、消防団が安心して活動できる環境づくりに配慮しながら維持管理を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	スマートシティ推進事業（消防団）						事業コード	090102550258		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実					施策コード	212		
事業担当	所属	550100 消防本部総務課			所属長	飯田 勝己				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	185 頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	他事業へ統合
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・情報伝達、共有に必要なタブレットを配備し、消防団の活動環境の改善を図る。 ・WEB会議、資料の送受信、緊急通知に利用し、消防団の活動の利便性、効率性を図る。 ・災害現場の画像、動画の送信、迅速かつ正確な状況把握に有効である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・継続した環境を整えるための機器更新 ・更なるデジタル化、オンライン化への対応
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・消防団へのタブレット配備により、災害現場における情報連携及び、平時の消防団活動を効率化し、消防・救急体制の充実強化を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・タブレット利用に係るアカウント、ライセンスの購入 ・タブレット利用に係る通信費

対象者	消防団幹部	対象者数	37	単位あたりコスト	33.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	183	アカウント・ライセンス購入			
役務費	426	通信料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		704	704	0	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			704	704	0	
予算財源内訳	① 一般財源		704	704	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		704	704		
	③ 執行額		647	610		
	④ 執行率		91.9%	86.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.08 / 0.00	0.08 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		640	640		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,287	1,250		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	タブレット利用率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	703	892	950	989		
	タブレット利用回数	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防団幹部へ貸与し、災害現場における情報連携や平時のWEB会議、情報共有に活用する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	消防団活動におけるタブレット端末の導入は、消防本部と消防団との情報共有を容易にし、WEB会議への利用はもとより、災害時の情報伝達ツールとしても非常に有効であり、既に災害情報の共有に必要不可欠となっている。
現状の課題に対する改善策	今後は、消防団活動のDX化を担うツールの一つとしての可能性を検討しつつ、継続して消防団の活動環境の維持を図る。 令和8年度から「消防団活動事業」へ統合。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防団活動事業							事業コード	090102550286		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212		
事業担当	所属	550100 消防本部総務課				所属長	飯田 勝己				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	185･186	頁
計画期間	開始年度	昭和22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	他事業を統合	
根拠法令等	消防組織法、消防法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域の安心安全を守るうえで不可欠な消防団員の活動を支える。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・消防団員の減少、高齢化 ・活動環境の改善 ・物価高騰による支出の増加
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 「地域密着性」「要員動員力」「即時対応力」を持ち、地域防災の要である消防団の活動環境をしっかりと支え維持することで、消防力の強化を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・消防団員報酬の支給 ・消防活動資機材、備品の購入 ・消防車両の維持管理（車検整備、法定点検、燃料費、修繕） ・消防団関係団体分担金の支払

対象者	消防団員	対象者数	1,454	単位あたりコスト	100.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	82,158	消防団員報酬	公課費	866	自動車重量税
旅費	7,527	消防団員出動費用弁償、実費弁償			
需用費	13,967	消耗品、燃料費、車両修繕、出動用熱中症対策品			
役務費	5,774	車検等点検手数料、自動車損害保険、福祉共済掛金			
備品購入費	3,922	AED、防火衣、消火用ホース			
負担金補助及び交付金	477	消防関係団体分担金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	118,881	118,343	130,893	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		118,881	118,343	130,893	
予算財源内訳	① 一般財源	118,576	116,367	125,089	
	② 国支出金	233	266	533	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	72	1,710	5,271	
決算情報	① 流充用額	△ 329	△ 276		
	② 配当予算	118,552	118,067		
	③ 執行額	116,557	114,690		
	④ 執行率	98.3%	97.1%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	4.27 / 1.30	3.38 / 1.40	/	/
	② 概算人件費	37,800	30,960		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		154,357	145,650		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		消防団員安全装備品整備事業		雑入		1,773		46	
		消防団福祉共済制度事務費		雑入		66		45	
		消防団員福祉共済制度返戻金		雑入		18		44	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	消防団員報酬の支給	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	35	45	34	46		
	災害出動件数	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防団員報酬の支給と、活動環境改善、維持管理のための消防活動資機材など備品の購入及び消防車両の維持管理（車検整備、法定点検、燃料費、修繕）を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	地域防災力の要として活動をする消防団員を取巻く環境は厳しさを増しており、負担も大きくなってきている。災害態様の変化や、消防団員数の減少など多くの課題を抱える消防団活動を支える事業として、消防団員の意見を取り入れながら、他の事業とも連携して実施していく。 消防団の活動環境の整備を図るとともに、機能別消防団の創設をサポートし、団員の負担軽減を図る必要がある。
現状の課題に対する改善策	機能別消防団員の入団促進を継続してサポートしながら団員確保に努めるとともに、消防団行事を見直すなど活動環境の改善に取り組み、団員の負担軽減を検討する。 令和8年度から「スマートシティ推進事業（消防団）」を統合。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防水利整備事業							事業コード	090103550216	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化			
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212	
事業担当	所属	550200 消防本部消防課				所属長	朝倉 宏二			
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	186 頁
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防組織法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	公共施設除却事業（消防水利施設）									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 5,000を超える消防水利の維持管理（消火栓約4,200基、防火水槽約1,300基の点検、水質管理、水量保持、浚渫、安全対策、更新、修繕など）
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・消防水利の計画的な維持管理と適正配置 ・老朽化している防火水槽の耐震性貯水槽への更新
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 消防水利を適正に管理することにより、火災発生時の迅速な消火体制を確立、火災による被害の軽減を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・耐震性貯水槽の設置、更新 ・防火水槽修繕 ・浚渫・フェンス改修 ・消火栓の設置、更新 ・消火栓の修繕

対象者	福知山市民	対象者数	77,306	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	大永産業株式会社				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	2,152	防火水槽修理部材、消火栓修理部材、防火水槽漏水改修、消火栓修繕			
委託料	374	防火水槽浚渫（三和町菟原中）			
工事請負費	30,143	耐震性貯水槽2基設置（三和町梅原、大江町公庄）、防火水槽フェンス改修8基			
原材料費	125	地下式消火栓2基			
負担金補助及び交付金	1,532	消火栓移設工事（大江町公庄）			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	45,620	45,520	28,220	0
	② 補正予算	0	△ 7,000	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		45,620	38,520	28,220	
予算財源内訳	① 一般財源	3,320	4,320	5,820	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	42,300	34,200	22,400	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,743		
	② 配当予算	45,620	36,777		
	③ 執行額	44,568	34,327		
	④ 執行率	97.7%	93.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.44 / 0.00	0.35 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,520	2,800		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		48,088	37,127		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	消防水利整備事業（緊急防災・減災）	消防債	31,600	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	地区	87	87	87	87		
	消防施設整備計画実態調査に基づく消防水利の充足率の維持	目標値		87	87	87	87	87	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	基	21	13	18	14		
	消防水利（耐震性貯水槽、消火栓）の設置数、改修数	当初見込		21	17	19	12	11	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・消防水利の点検実施 ・消防団・自治会への照会の実施 ・更新、改修計画の策定 ・予算の確保								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	消防水利の充足率は高い数値を維持しており、消防水利の機能維持及び充実強化が図れている。 維持管理に係る経費が年々高騰するなか、今後も管理数の多い消防水利の維持管理について、計画的に適切な維持管理を実施する必要がある。
現状の課題に対する改善策	地元自治会からの要望も勘案し、既存水利の適正配置についても再検討しながら、老朽度や費用対効果などを総合的に判断し、効率的な消防水利の維持管理を実施する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防庁舎改修事業							事業コード	090103550248		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施策名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212		
事業担当	所属	550200 消防本部消防課				所属長	朝倉 宏二				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	186	頁
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	消防組織法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	消防防災センター管理事業、消防施設管理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 災害態様が大きく変化する中、求められる消防活動内容も短いスパンの中で刻々と変化してきているが、防災拠点として活動を支える庁舎・施設・設備は整備後から年数が経過し、機能面、安全面等での改修が必要となっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 消防庁舎等の長寿命化計画に基づく計画的な改修
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 防災拠点施設である消防庁舎の機能維持のため、老朽化した庁舎や施設を改修し、消防活動を維持強化することで、市民の安心安全を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 消防防災センター、東分署、北分署庁舎の施設改修 【令和7年度実施内容】 ・北分署　出動衣用ロッカー改修 ・東分署　出動衣用ロッカー改修 ・防災センターシアター　プロジェクター改修

対象者	福知山市民	対象者数	77,306	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	860	防災センターシアタールームプロジェクター交換修繕			
備品購入費	3,377	冷凍ストッカー　1台、出動衣ロッカー購入　13台			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	6,000	4,300	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	6,000	4,300	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	2,400	3,000	0	
	⑤ その他特財	3,600	1,300	0	
決算情報	① 流充用額	0	377		
	② 配当予算	6,000	4,677		
	③ 執行額	5,089	4,237		
	④ 執行率	84.8%	90.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.47 / 0.00	0.35 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,760	2,800		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		8,849	7,037		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
消防庁舎改修事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	860	39	
消防庁舎改修事業（緊急防災・減災）	消防債	3,200	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	消防庁舎改修率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2	2	2	2		
	消防庁舎改修箇所数	当初見込		2	2	2	2	0	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	庁舎全体の躯体調査や施設・設備の安全面の調査、機能の検討、長期的な長寿命化計画の策定、予算の確保								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	計画に基づいた改修が実施できているが、策定している計画の再評価を実施し、改修の優先度を考慮した上で計画的に実施していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	消防庁舎長寿命化計画を定期的に見直し、消防をとりまく環境の変化に対応可能な改修の優先度を見極め、計画的に実施することで消防庁舎の機能維持を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防団施設整備事業							事業コード	090103550249	
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化			
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212	
事業担当	所属	550200 消防本部消防課				所属長	朝倉 宏二			
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	186 頁
計画期間	開始年度	昭和24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント基本方針			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防組織法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	公共施設除却事業（消防施設）									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・消防団車庫・詰所の老朽化 ・災害が複雑多様化している状況であり、消防団に対する期待は益々増加し、消防団への負担が増す中で消防団員数が年々減少している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 老朽化した消防団車庫・詰所の更新を計画するにあたり、それぞれの分団の抱える課題を抽出し、『地域密着性』、『即時性』、『要員動員力』といった消防団の強みが今後も維持可能な整備内容とする必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 消防団員の活動拠点となる消防団車庫・詰所などを整備することにより、消防防災体制に万全を期すとともに、災害現場活動に取り組む消防団員の活動環境の改善を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 統合車庫詰所の整備 消防団施設の改修 【令和7年度実施内容】・河守分団第1部・第2部統合車庫・詰所新築に伴う地盤改良工事 【令和7年度から令和8年度繰越】・細見川合分団統合車庫詰所新築及び既存建物解体工事

対象者	消防団員	対象者数	1,454	単位あたりコスト	81.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	松田産業株式会社、中間貯蔵・環境安全事業株式会社、北山工業、株式会社東亜設計					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	1,223	下六分団第2部屋根塗装修繕業務、雀部分団第1部和室床ほか修繕業務			
役務費	159	細見川合分団統合車庫詰所新築に伴う省エネ適合性判定に係る申請手数料、細見川合分団統合車庫詰所新築ほか工事に伴う完了検査申請手数料			
委託料	12,056	高濃度PCB廃棄物処理業務、高濃度PCB廃棄物収集運搬業務、河守分団統合車庫詰所新築ほか工事に伴う設計業務、細見川合分団整地業務			
工事請負費	99,550	細見川合分団統合車庫詰所新築ほか工事（前金払）、河守分団統合車庫詰所新築に伴う地盤改良工事、上夜久野分団合同車庫詰所新築ほか工事			
負担金補助及び交付金	1,561	細見川合分団統合車庫詰所建築工事に伴う配水支管移設工事、細見川合分団統合車庫詰所新築工事に係る水道の加入金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	161,852	91,156	101,221	0
	② 補正予算	50,649	7,500	0	0
	③ 繰越予算	△ 61,546	16,292	0	0
	前年度繰越	2,849	64,395	0	
	次年度繰越	△ 64,395	△ 48,103	0	0
小計（①～③）		150,955	114,948	101,221	
予算財源内訳	① 一般財源	455	548	321	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	148,200	114,400	100,900	
	⑤ その他特財	2,300	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	1,465		
	② 配当予算	150,955	116,413		
	③ 執行額	147,452	114,548		
	④ 執行率	97.7%	98.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.58 / 0.00	0.45 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	4,640	3,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		152,092	118,148		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	消防団施設整備事業（緊急防災・減災）	消防債	49,000	52	
	消防団施設整備事業（緊急防災・減災）（繰越明許費分）	消防債	63,700	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	分団	19	21	22	24		
	合意形成に至った方針に基づく、消防団車庫・詰所の更新整備数	目標値		29	29	29	29	29	
		達成度	%	66%	72%	76%	83%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	棟	3	1	0	1		
	消防団・地元との合意形成数	当初見込		3	1	0	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	更新の必要のある分団施設について、分団へのヒアリングを実施し、課題の整理を実施、その結果に基づく地元及び消防団との合意形成を図り、事業化に取り組む。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	消防団の再編・統合を計画的に推進し、統合車庫・詰所の整備を実施したことで、消防団活動の機動性が向上し、地域住民の安全確保や被害の軽減に貢献できた。
現状の課題に対する改善策	引き続き、更新時期を迎える消防団車庫・詰所について、消防団の意見を聞きながら、消防団及び地元との合意形成に向け、協議を実施し、事業化を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	消防車両更新事業							事業コード	090103550267		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち					政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化			
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実							施策コード	212	
事業担当	所属	550200 消防本部消防課					所属長	朝倉 宏二			
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	186・187	頁
計画期間	開始年度	昭和24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	消防組織法										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 消防力の維持を図るため、計画的な更新を必要とする多くの消防車両を保有しており、その数は常備消防において27台、非常備消防においては84台であるが、近年、社会情勢等により単年度整備が困難となっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 財源の確保、更新台数の平準化を考慮して策定している長期の更新計画の着実な履行
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 各種災害などに的確・迅速に対処するため、老朽化した消防車両などの更新を計画的に実施し、市民の生命及び財産を災害から守る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 消防車両の計画的な更新 【令和7年度実施内容】 ・消防ポンプ車 ・北指揮広報車 ・救援車 ・多機能型小型動力ポンプ付積載車2台 ・小型動力ポンプ付積載車5台 ・小型動力ポンプ付軽積載車

対象者	福知山市民	対象者数	77,306	単位あたりコスト	2.1	
実施方法	☑ 直接実施	☐ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	151	消防ポンプ自動車(CDーⅠ型)購入に係る中間検査			
役務費	788	登録諸経費、インターネット公有財産売却システム利用料			
使用料及び賃借料	6	ETC使用料			
備品購入費	154,068	消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）、北指揮広報車1台、救援車1台、多機能型小型動力ポンプ付積載車ほか			
公課費	335	自動車重量税			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	57,848	159,294	69,113	0
	② 補正予算	0	△ 3,500	0	0
	③ 繰越予算	6,097	0	0	0
	前年度繰越	6,097	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	63,945	155,794	69,113	
予算財源内訳	① 一般財源	5,187	6,644	1,113	
	② 国支出金	19,758	0	0	
	③ 府支出金	0	5,050	5,500	
	④ 地方債	17,200	131,400	49,500	
	⑤ その他特財	21,800	12,700	13,000	
決算情報	① 流充用額	△ 2,149	△ 99		
	② 配当予算	61,796	155,695		
	③ 執行額	58,446	155,348		
	④ 執行率	94.6%	99.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.45 / 0.00	0.65 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,600	5,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		62,046	160,548		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	消防車両更新事業	消防費府補助金	12,130	26	
	消防車両更新事業（企業版ふるさと納税寄附金）	消防費指定寄附金	1,000	34	
	消防車両更新事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	10,000	38	
	消防車両更新事業（緊急防災・減災）	消防債	118,000	52	
	消防車両更新事業（防災対策）	消防債	5,800	52	
	公用車（消防本部）	物品売払収入	6,055	32	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	更新計画達成率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	台	2	2	2	2		
	常備消防車両の更新事業化数	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	補助金やふるさと納税、インターネットオークションなどの財源確保を図りながら確実な更新計画の事業化								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	非常備車両の更新計画達成率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	台	4	4	4	4		
	非常備車両の更新事業化数	当初見込		4	4	4	4	2	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	補助金やふるさと納税、インターネットオークションなどの財源確保を図りながら確実な更新計画の事業化								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	国府補助金やふるさと納税、インターネットオークションなどの財源を確保しながら、車両の納入状況等の調査も事前にしっかりと行う中で、計画どおりの更新を実現した。
現状の課題に対する改善策	更なる財源確保に努めながら、計画どおりの更新を継続する。 また、近年の社会情勢等により車両全般の調達が困難な状況となっているため、関係機関からの情報収集に努め、早期対応に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	公共施設除却事業（消防施設）							事業コード	090103550282		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212		
事業担当	所属	550200 消防本部消防課				所属長	朝倉 宏二				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	187	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント基本方針			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	消防組織法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	消防団施設整備事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 老朽化した消防団車庫・詰所を、統合車庫・詰所として集約し、消防団活動の機動力の向上、活動環境の改善を図っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 老朽化した消防団車庫・詰所を、統合車庫詰所として更新することで、用途廃止となった既存車庫・詰所の速やかな除却
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 用途廃止した消防施設を、施設総量の削減を図るため除却する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【令和7年度から令和8年度繰越】 ・細見川合分団統合車庫詰所新築及び既存建物解体工事

対象者	消防団員	対象者数	1,454	単位あたりコスト	2.9
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社東亜設計				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	1,750	河守分団第1部・第2部統合車庫・詰所新築ほか 工事に伴う設計業務			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		10,500	12,800	9,700	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		△ 1,750	△ 11,050	0	0
		前年度繰越	0	1,750	0	
		次年度繰越	△ 1,750	△ 12,800	0	0
	小計（①～③）		8,750	1,750	9,700	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		7,900	1,500	8,700	
	⑤ その他特財		850	250	1,000	
決算情報	① 流充用額		907	0		
	② 配当予算		9,657	1,750		
	③ 執行額		9,657	1,750		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数 （正職員 /会計年度任用職員）		0.40 / 0.00	0.30 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		3,200	2,400		
トータルコスト （予算執行額+概算人件費）			12,857	4,150		

主な利用特財 （R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	公共施設除却事業基金繰入（消防施設） （公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	250	37	
	公共施設除却事業（消防施設）（公適・除却） （繰越明許費分）	消防債	1,500	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	用途廃止した消防団車庫・詰所の除却率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	棟	7	4	3	4		
	消防団の統合車庫・詰所整備により用途廃止した既存車庫・詰所の除却数	当初見込		7	4	3	6	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防団車庫・詰所の更新が必要な分団へのヒアリングを実施し、課題の整理と地元及び消防団と合意形成を図り、事業箇所を確定させる。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	用途廃止した消防団の既存車庫・詰所の除却を予定通り実施出来た。
現状の課題に対する改善策	引き続き、消防団の統合車庫・詰所の整備を実施する中で、用途廃止となる既存車庫・詰所の適切な除却を実施する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	公共施設除却事業（消防水利施設）					事業コード	090103550283			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施策名	2 消防・救急体制の充実				施策コード	212			
事業担当	所属	550200 消防本部消防課			所属長	朝倉 宏二				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	187 頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	消防組織法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	消防水利整備事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 5,000を超える消防水利の維持管理（消火栓約4,200基、防火水槽約1,300基の点検、水質管理、水量保持、浚渫、安全対策、更新、修繕など）を実施する中で、用途廃止する消防水利が発生する。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 用途廃止する消防水利の速やかな除却
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 消防水利の適正な維持管理計画を策定する中で、用途廃止する防火水槽などを、施設総量の削減を図るため除却する。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【令和7年度実施内容】 ・三和町梅原防火水槽撤去 ・夜久野町井田防火水槽撤去

対象者	福知山市民	対象者数	77,306	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
工事請負費	2,131	夜久野町井田地区防火水槽撤去工事、三和町梅原地区耐震性貯水槽設置ほか工事			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	5,300	4,500	10,700	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		5,300	4,500	10,700	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	4,700	4,000	9,600	
	⑤ その他特財	600	500	1,100	
決算情報	① 流充用額	1,242	0		
	② 配当予算	6,542	4,500		
	③ 執行額	6,542	2,131		
	④ 執行率	100.0%	47.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.47 / 0.00	0.30 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,760	2,400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		10,302	4,531		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	公共施設除却事業基金繰入（消防施設）（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	230	37	
	公共施設除却事業（消防水利施設）（公適・除却）	消防債	1,900	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	用途廃止した消防水利の除却率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	基	8	2	3	2		
	消防水利（耐震性貯水槽、消火栓）の設置、改修に伴い用途廃止した消防水利の除却数	当初見込		8	2	3	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消防水利の点検や消防団・自治会への照会の実施に基づき、消防水利の適正配置を検討し、更新、改修計画を策定し、事業箇所を確定する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	消防水利の適正配置に基づき、用途廃止した防火水槽の除却を予定通り実施出来た。
現状の課題に対する改善策	引き続き、消防水利の維持管理、適正配置を検討する中で、用途廃止となる消防水利の適切な除却を実施する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	水防活動事業						事業コード	090104550102			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化					
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実					施策コード	212			
事業担当	所属	550200 消防本部消防課			所属長	朝倉 宏二					
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	04水防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	187	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市水防計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	消防組織法、水防法、福知山市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地球温暖化などの気候変動等の影響から、大雨、台風などによる災害が多発化している
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・水防資機材の点検と計画的な整備 ・水防団員の教育訓練の実施 ・水防団員の報酬の的確な支給
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 水防計画に基づき、水害の発生防止に取り組むとともに、水害時の迅速・的確な活動体制を強化し、市民の生命及び財産を水害から守る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・水防資機材の整備 ・水防センターの維持管理 ・水防団員への報酬の支給

対象者	水防団員（消防団員）、消防職員	対象者数	1,512	単位あたりコスト	2.1
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	139	水防センター光熱水費（ガス、電気、上下水道料）水防資機材（土のう袋ほか）			
役務費	9	水防センター損害保険			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,988	3,394	3,394	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,988	3,394	3,394	
予算財源内訳	① 一般財源	4,988	3,394	3,394	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	4,988	3,394		
	③ 執行額	153	148		
	④ 執行率	3.1%	4.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.34 / 0.00	0.37 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	2,720	2,960		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		2,873	3,108		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	水防活動の迅速・的確な実施（支障回避率）	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	棟	10	10	10	10		
	水防倉庫・資機材の点検	当初見込		10	10	10	10	10	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	計画的に水防資機材の更新整備を行い、適正な維持管理を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	水防活動の迅速・的確な実施（支障回避率）	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	1	1	2		
	水防工法訓練を実施する。	当初見込		2	2	1	2	1	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	水防活動の拠点施設である水防センターを活用して、水防団員の研修や訓練を実施する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	本事業については、水防団員が出動した場合の出動報酬及び水防資機材の整備費を計上していることから、令和7年度についても、大雨等の水害による大きな被害はなかったため、予算の執行率は低くなっているが、水害による被害が発生した場合に備えて、水防倉庫の点検、資機材の更新整備を実施し、適正な維持管理に努めた。また、水防団員への訓練を地域防災訓練等で実施し、災害に備えることが出来た。
現状の課題に対する改善策	年々、大雨、台風による災害が多発化する中、水防資機材等の整備数や内容について再検討し、災害時に迅速に対応出来るよう、更なる水防体制の強化を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	京都府中・北部地域消防指令センター管理事業							事業コード	090101202386		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実						施策コード	212		
事業担当	所属	550400 消防本部通信指令課				所属長	佐野 由行				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	180	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	消防指令センターの共同運用消防の連携・協力実施計画書	R8現在の状況	継続中			
根拠法令等	消防組織法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	消防通信指令システム管理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 高機能消防指令システムを24時間365日安定稼働させ、京都府中・北部地域からの様々な緊急通報に対応している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・絶え間なく安定稼働している高機能消防指令システムの維持管理 ・新たに生じるシチュエーションからの緊急通報への対応
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 管内住民の安心・安全に貢献するため、京都府中・北部地域の6消防本部が共同で運用する消防指令センターにおける確実な通信指令管制を継続し、高機能消防指令システムの運用と機能維持を図り、災害への初動体制に万全を期する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・高機能消防指令システムの保守業務を専門業者に業務委託する。 ・確実な通信指令管制を行うためLive119システムを必要に応じ利用する。 ・聴覚障害者からの通報に対応するためNET119システムを利用する。 ・外国人からの通報に対応するため通訳業務を業務委託する。

対象者	京都府中・北部地域（6消防本部）住民	対象者数	409,836	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS・株式会社ゼネラル近畿情報通信ネットワーク営業部				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	862	事務用品・生活用品購入、空調機修繕			
役務費	5,011	指令システム回線利用料、郵送料、保険料			
委託料	33,880	指令システム保守業務、多言語通訳業務、簡易型通話録音装置設置業務			
使用料及び賃借料	710	寝具賃貸借、複合機賃貸借等、NHK受信料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	6,377	40,455	40,467	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		6,377	40,455	40,467	
予算財源内訳	① 一般財源	1,173	7,226	7,346	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	5,204	33,229	33,121	
決算情報	① 流充用額	△ 255	9		
	② 配当予算	6,122	40,464		
	③ 執行額	5,882	40,464		
	④ 執行率	96.1%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	4.90 / 0.00	5.02 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	39,200	40,160		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		45,082	80,624		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	京都府中・北部地域消防指令センター管理事業（きょうと地域連携交付金）	消防費府補助金	2,118	26	
	京都府中・北部地域消防指令センター負担金	雑入	33,214	45	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	―	―	100	100		
	高機能消防指令システムの安定稼働	目標値		―	―	100	100	100	
		達成度	%	―	―	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	―	―	―	1		
	高機能消防指令システムの定期点検	当初見込		―	―	―	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	高機能消防指令システムの定期点検の結果に基づく計画的な機器の更新								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	6消防本部による共同運用開始後、大きなトラブルもなく高機能消防指令システムを運用することができている。今後も、継続して高機能消防指令システムを安定稼働させることが重要である。
現状の課題に対する改善策	6消防本部が共同で行う事業であることを念頭に置き、高機能消防指令システムの計画的な更新を実施し、安定稼働に繋げる。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	救急活動事業					事業コード	090101410204			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施策名	2 消防・救急体制の充実				施策コード	212			
事業担当	所属	550700 消防本部 消防署警防課			所属長	吉良 正彦				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	180・181 頁
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防組織法、消防法、救急救命士法、福知山市救急業務規程、福知山市応急手当の普及啓発活動推進に関する実施要綱、福知山市まちかど安心ステーション標章交付制度に関する実施要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	消防職員高度教育訓練事業、消防車両更新事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・心肺停止傷病者の救命率及び社会復帰率向上のために、応急手当の普及啓発、救急隊員及び救急救命士の資質の向上、並びにメディカルコントロール体制の充実・強化に取り組んでいる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・高齢化率の上昇により、心肺停止事案の増加が予想される。また、救急出動件数も増加傾向にあり、救急用資機材の頻回使用による修理や更新への予算の確保が喫緊の課題である。 ・市民の感染防護に関する意識の変化が、応急手当の実施率の低下につながるため、正しい知識の普及が課題である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・現場に居合わせた人から始まる一連の応急手当が、途切れずに救急隊に引継がれることにより、自己心拍再開率30%を実現する。市民協働による応急手当の普及啓発と必要な資機材の整備、救急救命士及び救急隊員の教育による資質向上、救急活動の質を検証して担保するメディカルコントロール体制の更なる充実と高度化を推進し、最終的に救命率・社会復帰率の向上を実現することを事業目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・傷病者の搬送を適切に行うのに必要な資機材の配備（救急活動全般の感染防止対策を含む）と、各種医療機器の保守点検の実施 ・救急隊員教育及び訓練（救急隊員研修、特定行為実技マニュアルの作成、救急ワークステーション等）の実施 ・中丹メディカルコントロール協議会事務（救急救命士の認定、病院研修、検証委員会の開催） ・各種救急講習会（一般講習、救急入門コース、普通救命講習Ⅰ、普通救命講習Ⅲ、上級救命講習、応急手当普及員講習等）の開催 ・救急まちかど安心ステーションの登録と認定　・ファーストレスポンダー体制の構築と運営支援
対象者	福知山市民　　対象者数：77,306　　単位あたりコスト：1.5
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	株式会社石坪、株式会社京都環境保全公社、株式会社かんと一す、日本船舶薬品株式会社大阪支店

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	162	救急救命士就業前病院実習に伴う謝礼、中丹MC協議会委員報償費	備品購入費	4,002	自動心臓マッサージ機、蘇生法訓練人形、AEDトレーナー、高圧蒸気滅菌機
旅費	22	病院管外搬送旅費、普通旅費	負担金補助及び交付金	2,160	近畿救急医学研究会年会費、#7119運営協議会負担金、救急救命士指示体制負担金等
需用費	5,348	消耗品費、印刷製本費、備品等修繕料、医療用消耗品費、薬品費			
役務費	122	郵送料、酸素ボンベ容器耐圧検査手数料、保険料			
委託料	1,455	救急車積載機器（モニター・除細動器）定期点検、医療廃棄物等収集運搬業務、医療廃棄物等収集運搬中間処理最終処分業務、LUCAS3保守業務			
使用料及び賃借料	13	駐車料、高速道路等通行料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	13,303	13,240	12,562	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	13,303	13,240	12,562	
予算財源内訳	① 一般財源	11,107	10,986	10,308	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	2,196	2,254	2,254	
決算情報	① 流充用額	218	346		
	② 配当予算	13,521	13,586		
	③ 執行額	12,460	13,283		
	④ 執行率	92.2%	97.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	11.22 / 0.00	12.48 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	89,760	99,840		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		102,220	113,123		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	高速自動車道支弁金	雑入	2,282	41	
	臨地実習受入経費	雑入	60	45	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	19.1	18.4	42.7	27.2		
	心肺停止傷病者の心拍再開率（年）	目標値		30	30	30	30	30	
		達成度	%	64%	61%	142%	91%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	48.4	67.1	61.1	68.7		
	バイスタンダーCPR実施率（年）	当初見込		50	50	50	50	50	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	一般市民の方が救急講習を受講することで、心肺停止傷病者のそばにいる人（バイスタンダー）が応急手当を実施し、一連の応急手当が途切れずに救急隊に引き継ぐことで心拍再開率と社会復帰率の向上をめざす。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	707	501	726	503		
	市民救命士養成講座再講習者の受講数を上昇させ、心肺蘇生法の知識、技術を維持し、緊急時の行動につなげる。	目標値		600	600	600	600	600	
		達成度	%	118%	84%	121%	84%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	3	2		
	応急手当普及員（再講習含む）講習の開催。	当初見込		3	3	3	3	3	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民協働により、市民に対して応急手当普及啓発を進めていくための指導員として市民応急手当普及員を養成する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	本事業の最終目的は、傷病者の救命率及び社会復帰率の向上であり、そのために救急隊員及び救急救命士の資質の向上、メディカルコントロール体制の充実・強化による現場活動能力の向上に取り組んでいる。 本市の高齢化率の上昇により、心肺停止事案の増加が予測される中、令和5年の救急件数は、4,012件と過去最高となったことに加え、令和6年は、搬送人員が3,698人と過去最高となった。さらに、令和7年は3,981件で依然として高い水準で推移している。出動件数や搬送人員の増加は、頻回使用による資器材の不具合に直結することとなり、修理や更新に係る予算の確保が喫緊の課題となっている。また、市民の感染防護に対する意識の変化が、応急手当の実施率に与える影響は大きい。感染防護については、応急手当普及啓発の中で教育と対策をとっているものの、応急手当の実施率上昇には一定の障害となりうる。このような状況の中、一自治会においてファーストレスポンダー体制が構築されたことは、非常に大きな意義がある。
現状の課題に対する改善策	心肺停止傷病者の救命率及び社会復帰率を向上させるためには、救急現場に居合わせた人から始まる応急手当が継続され、途切れることなく救急隊員による適切な救命処置へと続くことが重要である。 本事業の最終目的は、傷病者の救命率及び社会復帰率の向上であり、市民救命士の育成、応急手当普及員の養成、救急まちかど安心ステーションの拡充、ファーストレスポンダー体制の構築など、居合わせた人が早期に応急手当ができる環境を整えることである。特に、市民救命士養成講座の再講習者を増加させることにより、知識の維持と技術の向上を図り、応急手当の実施率を上げる。更に救急救命士及び救急隊員の資質の向上、メディカルコントロール体制の充実・強化による現場活動能力の向上、救急車の適正利用を市民に周知するための広報活動など、多岐にわたる対策を俯瞰的かつ柔軟に推進していく必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	防火安全対策推進事業					事業コード	090101550220			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実				施策コード	212			
事業担当	所属	550800 消防本部 消防署予防課			所属長	中村 幸輔				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	182 頁
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	消防法、福知山市火災予防条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 火災から市民の生命・財産を守るため、市民が利用する防火対象物や市民の身近に存在する危険物施設に対し、防火管理体制の確立及び違反是正を徹底させることは重要である。また、全国で発生した住宅火災における死者数は、65歳以上の高齢者が占める割合が約7割と高く、一人暮らし高齢者世帯への防火訪問による住宅防火対策を推進している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・防火対象物における防火管理者の選任率の100%への到達に達していない ・火災件数を減少させ、死傷者ゼロを目指すものであるが、毎年一定数の死傷者が発生している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 火災の発生を未然に防止し、火災による人的及び物的被害の軽減を図るため、防火対象物及び危険物施設の防火管理体制の確立並びに違反是正を徹底させるとともに、住宅防火対策への取組みを積極的に行う。また、屋外イベントにおける事故防止を徹底するため、防火安全講習を開催し、屋外イベントの関係者に対して防火管理を徹底させる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・防火対象物の関係者を対象に、防火管理に関する講習会を実施した。（新規講習　甲種2回） ・防火対象物及び危険物施設の防火管理体制の確立並びに違反是正を推進するため、防火対象物248件、危険物施設36件の立入検査を実施 ・屋外イベント講習会を2回実施 ・一人暮らし高齢者宅防火訪問を785軒実施 ・幼児に対して起震車体験会を実施し、698人が参加した。

対象者	福知山市民	対象者数	77,306	単位あたりコスト	3.4	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	7	会議参加旅費			
需用費	744	事務用品、防火啓発物品、封筒、火災調査器材			
役務費	238	郵便料、保険料			
使用料及び賃借料	64	ヘリウムガスボンベ賃借、駐車料金、ETC使用料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,239	1,060	1,143	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,239	1,060	1,143	
予算財源内訳	① 一般財源	1,239	1,060	1,143	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 62	0		
	② 配当予算	1,177	1,060		
	③ 執行額	1,019	1,052		
	④ 執行率	86.6%	99.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	41.48 / 1.30	32.14 / 1.06	/	/
	② 概算人件費	335,480	260,088		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		336,499	261,140		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	93.8	93.4	94.5	96.0		
	防火管理者の選任率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	94%	93%	95%	96%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	95	128	80	101		
	防火管理者講習会の受講者数	当初見込		80	80	80	80	80	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	未選任防火対象物を減らすため、年2回の防火管理者講習会を開催する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	0	1	1	0		
	住宅火災による死者の数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	100%	－	－	100%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	軒	794	722	796	785		
	一人暮らし高齢者世帯への防火訪問	当初見込		500	500	500	500	500	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市内の一人暮らし高齢者世帯に対し、消防職員による防火訪問を行い火災予防の徹底を図る。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	「防火管理者講習受講者数」については、活動実績を達成でき、防火管理者の選任に繋げている。 「一人暮らし高齢者世帯の防火訪問」についても、実施計画数以上の防火訪問を実施
現状の課題に対する改善策	「防火管理者の選任率」については、前年度より上昇しているが、未選任の防火対象物に対し、防火管理者講習の受講を働きかけ、防火管理者の選任率を向上させる必要がある。 「一人暮らし高齢者世帯の防火訪問」については、火災事例及び屋内の危険箇所を伝えるとともに、住宅用火災警報器の適正な維持管理（設置後10年経過の更新含む）について啓発を続ける。 火災の発生件数が令和5年以降40件を超えている状況であることから、火災原因の分析から効果的な火災予防広報に繋げる。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	防災センター運営事業						事業コード	090101550273		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	1 防災・減災、災害対策の強化				
	施 策 名	2 消防・救急体制の充実					施策コード	212		
事業担当	所属	550800 消防本部 消防署予防課			所属長	中村 幸輔				
会計情報	款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	183 頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	自主防災組織育成事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 激甚化、複合化、頻発化する災害に対し、公助による対応には限界があり、同時多発的に発生する災害への初期対応については、「自主防災組織」の「自助・共助」の力が必要不可欠である。市民の皆さんに過去の災害を忘れず危機意識を持ち続けていただくことで、自主的に防災活動を推進する力を生み出す拠点となるよう防災センターを運営し、維持管理している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 防災センターの利用者数については市外からの見学等は堅調であるものの、市内の自治会、自主防災組織、企業による施設利用がまだ少ない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民の皆さんが自主的に防災活動を推進する力を生み出す拠点となる防災センターを運営するとともに、市民の皆さまに過去の災害を忘れず危機意識を持ち続けていただくため、本市が経験した災害を見て、聞いて、感じていただく施設を維持管理する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 自主防災組織の育成・強化を図るため、防災センターの各種施設を活用する。 ・体験学習（防災シアター・水圧体験車・煙体験・消火体験）で、7,403人が利用した。 ・自主防災リーダー養成講座を初級2回と中級1回、防火管理に関する講習会を2回、屋外イベント等防火安全講習を2回実施 ・幼少年に対して防災センターの見学と合わせて起震車体験会を実施し、市内31園698人が参加した。また、全小学校の社会授業を実施 ・救急講習を44回実施し、554人が利用した。

対象者	福知山市民	対象者数	77,306	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	118	スモークマシーン液、展示パネル更新			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		122	129	32	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			122	129	32	
予算財源内訳	① 一般財源		122	129	32	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		122	129		
	③ 執行額		34	118		
	④ 執行率		27.9%	91.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.03 / 2.30	0.27 / 0.56	/	/
	② 概算人件費		6,680	3,728		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			6,714	3,846		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	自治会	285	299	325	325		
	自主防災組織の組織率	目標値		326	326	325	325	325	
		達成度	%	87%	92%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	5,584	6,827	7,128	7,403		
	防災センター利用者数	当初見込		8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・防災センターを利用して自主防災リーダー養成講座を3回（初級2回、中級1回）開催する。 ・イベントに加え、訓練出向などのあらゆる機会を通じ、防災センター利用をアピールし、ホームページに加えインスタグラムの活用により、広く防災センター利用の周知を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	成果実績である自主防災組織の結成率については、令和6年度に市内全自治会325自治会の組織結成が確認できた。 防災センターの利用者数は、令和7年度は7,403人となり活動実績は達成できておらず、市外からの団体客を含め、市内の自治会、自主防災組織、企業による施設利用がまだ少ないのが、これまでからの課題である。
現状の課題に対する改善策	防災センターの利用者数が目標の8,000人に達しておらず、あらゆる広報媒体、防災企画などを活用し、利用者の増加につなげる。